

みごろの花&生きもの 散策コースマップ

2024

国営明石海峡公園 神戸地区
あいな里山公園

3月中旬～4月中旬

--- 季節のおすすめ散策コース ---
(ゆっくり歩いて1時間)
--- おてがるコース ---
(ゆっくり歩いて30分)



いきもの



ニホンアカガエル(幼生)(アカガエル科)

天敵の少ない冬に産卵するカエル。田んぼや水路の中に卵がないか探してみましょう。そして、オタマジャクシになって動く様子を観察しましょう。



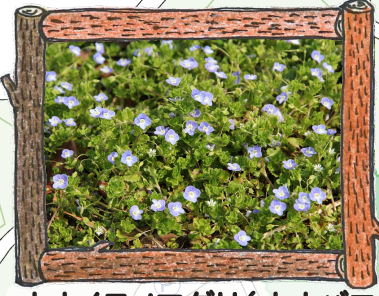
ツバメ(ツバメ科)

昔からツバメの鳴き声は「土食って虫食ってくち洪〜い」と言われます。巣を作るために土をせっせと集める様子から、こんな言葉が生まれたのかもしれない。



ウグイス(ウグイス科)

「ほーほけきょ」と春の訪れを告げる鳥。うぐいす色といえは鮮やかな黄緑色のことだけど、本物のウグイスは地味で目立たない色をしています。



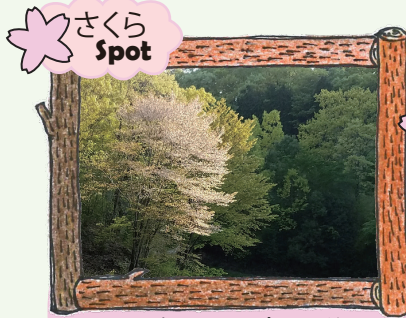
オオイヌノフグリ(オオバコ科)

ヨーロッパ原産の青い花。この花が咲くと一挙に春らしさに包まれる感じがします。



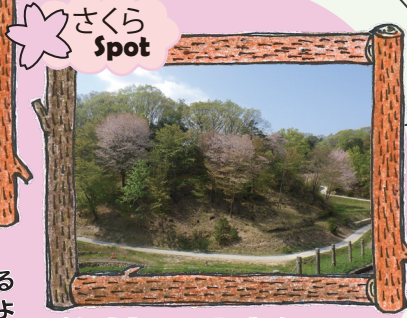
コバノミツバツツジ(ツツジ科)

サクラと並んで、春の里山をいづる代表的なツツジ。材は、煙の出ない焚きつけ材として、大切にされてきたそうです。



カスミザクラ(バラ科)

ヤマザクラが散る頃に咲き始めるサクラ。見ためもヤマザクラによく似ています。(4月中旬～)



美林の山桜

ヤマザクラ、カスミザクラ…開花をつなぐサクラ開花リレー

タンポポいろいろ

園内にはいろいろなしゃるいのタンポポが咲きます。探してみてください。



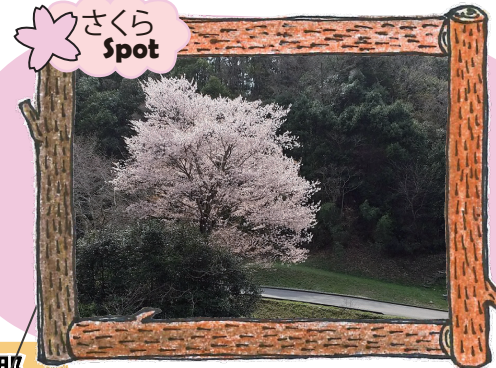
カンサイタンポポ



セイヨウタンポポ



シロバナタンポポ



さくら Spot

ヤマザクラ(バラ科)

園内のサクラの中でもいち早く咲くサクラ。花と一緒に紅い新芽も顔を出し、早春の里山をいろどります。(4月上旬)



タネツケバナ(アブラナ科)

ナスナによく似ていますが、茎からのひる果実の部分の形が違います。晴れた日、はちまちと音を立てて果実が割れ、たねを飛ばします。



ホトケノザ(シソ科)

春の七草とよく間違えられますが、現在のホトケノザはこちら。葉の形が「仏の座」に見えることからこの名がつけました。



ナガバノタチツボスミレ(スミレ科)

園内でよくみられるスミレの一種。この他にも色や形の違うさまざまなスミレが園内各所でみられますよ。



キブシ(キブシ科)

小さな花が房になって垂れ下がり、まるででんざしのような花を咲かせる木です。



ツクシ(スギナ)(トクサ科)

「つくしんぼ」は、スギナの春のすがた。坊主頭のような形がかわい植物です。晴れた日には、その頭から胞子を飛ばします。



春の味覚

ヨモギ(キク科)

早春から晩秋まで年中みられる野草。よもぎ団子にして食べる他、薬やお灸の材料にもつかわれます。

